(19)日本国特許庁(JP)　(12)公表特許公報(A)　(11)特許出願公表番号
特表2010-537652
(P2010-537652A)
(43)公表日　平成22年12月9日(2010.12.9)

(51)Int.Cl.	F I	テーマコード（参考）
A23L 1/29 (2006.01)	A23L 1/29	4B018

審査請求 未請求　予備審査請求 有　（全 23 頁）

(21)出願番号	特願2010-523325 (P2010-523325)
(86)(22)出願日	平成20年9月5日 (2008.9.5)
(85)翻訳文提出日	平成22年4月12日 (2010.4.12)
(86)国際出願番号	PCT/EP2008/007260
(87)国際公開番号	WO2009/030485
(87)国際公開日	平成21年3月12日 (2009.3.12)
(31)優先権主張番号	07017566.6
(32)優先日	平成19年9月7日 (2007.9.7)
(33)優先権主張国	欧州特許庁 (EP)

(71)出願人　599132904
ネステク　ソシエテ　アノニム
スイス国，ブベイ，アブニュー　ネスレ　５５
(74)代理人　100088155
弁理士　長谷川　芳樹
(74)代理人　100114270
弁理士　黒川　朋也
(74)代理人　100128381
弁理士　清水　義憲
(74)代理人　100107456
弁理士　池田　成人
(74)代理人　100140453
弁理士　戸津　洋介

最終頁に続く

(54)【発明の名称】「自然に含まれる」糖のみを含む常温貯蔵可能な一定範囲の乳幼児食品及び同乳幼児食品を作製する方法

(57)【要約】
一定範囲の乳幼児食品が複数の製品を含み、その範囲中の各製品が、添加される糖によって提供される、製品の全エネルギーの約１０％より少ないエネルギーを有する。結果として生じる範囲の乳幼児食品は、その範囲の中の各食品が、添加される糖によって提供される甘味よりむしろ、製品中の成分から生じる自然の味を有するという利点を有する。
【選択図】なし

【特許請求の範囲】
【請求項１】
一定範囲の乳幼児食品中の各製品が、添加される糖によって提供される、製品の全エネルギーの約１０％より少ないエネルギーを含む、一定範囲の乳幼児食品。
【請求項２】
一定範囲の乳幼児食品中の各製品が、添加される糖によって提供される、製品の全エネルギーの約５％より少ないエネルギーを含む、請求項１に記載の一定範囲の乳幼児食品。
【請求項３】
一定範囲の乳幼児食品中の各製品が、添加される糖によって提供される、製品の全エネルギーの約２％より少ないエネルギーを含む、請求項１又は２に記載の一定範囲の乳幼児食品。
【請求項４】
一定範囲の乳幼児食品中の各製品が、添加される糖を実質的に含まず、その結果、製品が食品の成分に本来存在する自然に発生する糖のみを有する、請求項１～３のいずれか一項に記載の一定範囲の乳幼児食品。
【請求項５】
一定範囲の製品が、乳幼児の各発達段階に適する少なくとも１種の食品を含む、請求項１～４のいずれか一項に記載の一定範囲の乳幼児食品。
【請求項６】
一定範囲の製品が、乳幼児の各発達段階に適する２種以上の食品を含む、請求項１～５のいずれか一項に記載の一定範囲の乳幼児食品。
【請求項７】
一定範囲の製品が、乳幼児の各発達段階のために、少なくとも１種の野菜ベースの製品及び１種の果物ベースの製品を含む、請求項１～６のいずれか一項に記載の一定範囲の乳幼児食品。
【請求項８】
一定範囲の製品が、乳幼児の各発達段階のために、複数種の野菜ベースの製品及び果物ベースの製品を含む、請求項１～７のいずれか一項に記載の一定範囲の乳幼児食品。
【請求項９】
一定範囲の製品が、乳幼児の発達の第１段階のために、少なくとも１種の野菜ベースの製品及び１種の果物ベースの製品を含む、請求項１～８のいずれか一項に記載の一定範囲の乳幼児食品。
【請求項１０】
一定範囲の製品が、乳幼児の発達の第２段階のために、少なくとも１種の野菜ベースの製品、１種の完全食、及び１種の果物ベースの製品を含む、請求項１～９のいずれか一項に記載の一定範囲の乳幼児食品。
【請求項１１】
一定範囲の製品が、乳幼児の発達の第３段階のために、少なくとも１種の野菜ベースの製品、１種の完全食、及び１種の果物ベースの製品を含む、請求項１～１０のいずれか一項に記載の一定範囲の乳幼児食品。
【請求項１２】
一定範囲の製品が、乳幼児の発達の第４段階のために、少なくとも１種の野菜ベースの製品、１種の完全食、及び１種の果物ベースの製品を含む、請求項１～１１のいずれか一項に記載の一定範囲の乳幼児食品。
【請求項１３】
請求項１～１２のいずれか一項に記載の一定範囲の食品を、乳幼児に与えるステップを含む、異なる発達段階中の乳幼児の栄養ニーズを満たすための食餌法。
【請求項１４】
栄養に関連する障害の予防又は治療のための１種又は複数種の薬剤又は機能性食品の製造における、請求項１～１２のいずれか一項に記載の一定範囲の食品の使用。

【請求項１５】
請求項１～１２のいずれか一項に記載の一定範囲の食品を与えるステップを含む、栄養に関連する障害の発症の予防、治療、又は遅延の方法。
【請求項１６】
栄養に関連する疾患が、肥満、栄養失調、糖尿病，及び心臓病から選択される、請求項１４に記載の使用又は請求項１５に記載の方法。
【請求項１７】
本明細書に実質的に記載される一定範囲の乳幼児食品。
【発明の詳細な説明】
【技術分野】
【０００１】
［０００１］本発明は、一般に乳幼児食品、特に加工又は包装中に添加される糖及び甘くする濃縮果汁を有さない乳幼児食品に関する。
【背景技術】
【０００２】
［０００２］生後最初の６ヶ月間の完全母乳育児は、乳幼児の健康的な成長及び発達にとって、理想的な栄養を供給する最良の方法であると考えられる。母乳育児はまた、乳幼児の免疫系を強化し、感染症の罹患率及び重症度を軽減する。
【０００３】
［０００３］母親には、母乳育児ができない母親もいるし、一方、個人的、文化的、社会経済的、又は健康上の理由で、母乳育児を選択しない母親もいる。これらの場合、世界保健機構（ＷＨＯ）は、母親が乳幼児の栄養を最適化するように援助されるべきであると述べている。
【０００４】
乳児用調製粉乳
［０００４］ＷＨＯ／食物のための国際的な基準を定める国連機関である、国連食料農業機関（ＦＡＯ）の国際食品規格委員会は、乳児用調製粉乳は母乳の最高の代用品であると認めている。工業的に調製される乳児用調製粉乳は、母乳の全ての品質を厳密に複製することはできないが、栄養的に不十分で危険なことがある伝統的な代用品より、かなりの改善を示す。伝統的な代用品としては、改質されていない（ウシ、ヤギ、又はバッファローからの）動物の乳及び様々な種類の穀物粥が挙げられる。
【０００５】
［０００５］工業的に調製される乳児用調製粉乳は、母乳の部分的又は完全な代替品として誕生から使用するために考案された。国際食品規格委員会は、乳児用調製粉乳を「乳幼児の食事として与えるのに適すると証明された、魚又は植物由来の物を含む、ウシ若しくは他の動物の乳、及び／又は動物の他の可食構成物質をベースにした製品」と、定義している。栄養分の唯一の供給源として使用される場合、乳児用調製粉乳は、生後最初の６ヶ月間の乳児の全てのエネルギー及び栄養の要求量を満たさなければならない。
補助食品
【０００６】
［０００６］最初の６ヶ月間の完全母乳育児の後、乳幼児は、栄養的に十分で、安全で、適切な補助食品を摂り始めるべきである。
【０００７】
［０００７］補助食品は離乳のために使用され、「母乳又は乳児用調製粉乳のどちらかが乳幼児の栄養要求量を満足させるのに不十分となる場合、大量生産されるのであれ、局地的に調製されるのであれ、母乳又は乳児用調製粉乳を補完するものとして適する任意の食物」と定義することができる。補助食品としては、例えば、乳製品、自家製食品、及び加工食品（インスタントの調製品を含む、穀物ベース又は他の離乳食）が挙げられる。
【０００８】
［０００８］補助食品は、母乳又は母乳代用品が乳幼児の栄養要求量をもはや満足させ

ない場合、乳幼児の食事に導入すべきである。乳幼児の消化器官が発達するこの移行期間に、乳幼児の食事は、乳のみの食事から、大人と同様の完全に多様化した食事に、次第に進化させることができる。

【０００９】

［０００９］異なる味及び質感は、例えば、乳幼児の普通の乳又はピューレにした果物及び野菜と混合した穀物を通じて、徐々に食事に導入することができる。その後、だんだん、固形の食物を添加することができる。

【００１０】

［００１０］多くの母親、特に発展途上の国々の農村地域の母親は、家庭で補助食品を調製する。しかし、これらの食物が、月齢６～２４ヶ月の乳幼児が必要とする、全てのカロリー、鉄分、及び他の微量栄養素を供給する可能性は非常に低い。これに鑑みて、食品製造業者は、これらの要求量を満たすために、微量栄養素を強化した高カロリーの補助食品を開発してきた。その補助食品は、様々な量のタンパク質、炭水化物、及び脂肪を含む。炭水化物成分は、乳幼児によって消化されないデンプン及び複合繊維を含み、したがって、血糖値及び糖に影響を与えない。

【００１１】

［００１１］従来、ショ糖及び果糖などの外来性の糖を食品に添加し、製品に甘味をつけてきた。これによって、乳幼児が食品を楽しんで食べる可能性が増し、乳幼児が成長及び発達のための十分な食物摂取量を摂ることを保証する一助となる。

【００１２】

［００１２］しかし、子供たちが甘い味のする食物に条件付けられるようになることがあるので、限定的な味覚を発達させることがあることが見いだされている。さらに、子供たちがより多量の甘い食物を食べるので、歯科問題及び肥満を含む体重の問題の発生率が増加している。

【００１３】

［００１３］さらに、乳幼児が繰り返し同一の又は同様の味を有する食物を与えられる場合、その味に飽きてしまい、あまり食べなくなるので、入手可能な１回限りの食品は、乳幼児のための完全な食事を提供しないことが見いだされている。

【００１４】

［００１４］さらに、異なる栄養成分を有する食物が、乳幼児が発達するにつれて、必要となる。この点において、乳幼児の発達段階を定義することができ、第１段階は月齢約４から約６ヶ月のことを言い、第２段階は月齢約６から約８ヶ月のことを言い、第３段階は月齢約８から約１２ヶ月のことを言い、第４段階（ジュニア段階とも言われる）は月齢約１２から約３６ヶ月のことを言う。これらの異なる発達段階中に該当する乳幼児は、異なる栄養要求量を有する。したがって、自然の味を有する新規の範囲の食品及びかかる製品を作製する方法が必要である。

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【００１５】

［００１５］したがって、本発明の目的は、様々な味を提供する新規の範囲の乳幼児食品を提供することである。

【００１６】

［００１６］本発明のさらなる目的は、肥満を含む体重の問題を発生させるようにならない新規の範囲の乳幼児食品を提供することである。

【課題を解決するための手段】

【００１７】

［００１７］これら及び他の目的は、本発明の１つの態様において、一定範囲の乳幼児食品中の各製品が、添加される糖によって提供される、製品の全エネルギーの約１０％より少ないエネルギーを有する一定範囲の乳幼児食品を提供することによって対処される。結果として生じる範囲の乳幼児食品には、その範囲の中の各食品が、添加される糖によっ

て提供される甘味よりむしろ、製品中の成分から生じる自然の味を有するという利点を有する。様々な実施形態において、成分は添加される糖を実質的に含まず（例えば、添加される糖によって提供される、製品の全エネルギーの１％より少ない）、又は、添加される糖を全く含まず、その結果、製品は、食品の成分中に本来存在する自然に発生する糖のみを有する。

【００１８】

［００１８］有利なことに、本発明による一定範囲の食品は、成長過程にある乳幼児に甘い味のする食物を条件付けず、肥満を発生させる可能性を減少させる。

【００１９】

［００１９］さらなる態様において、本発明は、発達の異なる段階中の乳幼児の栄養ニーズを満たすための食餌法を提供し、その方法は、発明による一定範囲の食品を乳幼児に与えることを含む。

【００２０】

［００２０］さらなる態様において、本発明は、栄養に関連する障害の予防又は治療のための１種又は複数種の薬剤の製造における、本発明による一定範囲の食品の使用を提供する。

【００２１】

［００２１］別の態様において、本発明は、本発明による一定範囲の食品を与えるステップを含む、栄養に関連する障害を予防又は治療する方法を提供する。

【００２２】

［００２２］栄養に関連する疾患は、場合によって、肥満、栄養失調、糖尿病、及び心臓病から選択される。

【００２３】

［００２３］本発明のこれらの及びさらなる目的、特徴、及び利点は、当業者によって容易に発見される。

【図面の簡単な説明】

【００２４】

【図１】本発明による食餌計画を示す図である。

【発明を実施するための形態】

【００２５】

定義

［００２５］本明細書の文脈の中で、用語「約」は、プラス又はマイナス２０％、より好ましくはプラス又はマイナス１０％、さらにより好ましくはプラス又はマイナス５％、最も好ましくはプラス又はマイナス２％のことを言う。

【００２６】

［００２６］用語「一定範囲の乳幼児食品」は、乳と一緒に、乳幼児に栄養要求量を与える複数の包装された栄養組成物（例えば、２つ以上）のことを言う。範囲は１組の部分を形成すると解釈できる。

【００２７】

［００２７］用語「糖」は、単糖又は二糖のことを言う。

【００２８】

［００２８］用語「添加される糖」は、甘くする目的のためにだけ、加工中に食品に典型的に添加される外来性の糖を言う。これらの外来性の糖としては、精製ショ糖、果糖、グルコースシロップ、蜂蜜、及び甘い濃縮果汁（例えば、リンゴ、ナシ、ブドウ、及びバナナの果汁）から抽出された糖が挙げられる。

【００２９】

［００２９］本発明は多様であってもよいので、本明細書に記載の特定の方法、手順、及び試薬に限定されない。さらに、本明細書に使用される用語は、特定の実施形態を記載するだけの目的のためであり、本発明の範囲を限定することを意図しない。本明細書及び添付の特許請求の範囲で使用される通り、単数形「ａ」、「ａｎ」、及び「ｔｈｅ」は、

文脈が明確に別段の指示をしない限り、複数の言及を含む。
【００３０】
［００３０］別段の定義がない限り、本明細書に使用される全ての専門及び科学用語、並びにいずれの頭字語も、本発明の分野の当業者によって、一般に理解されるのと同じ意味を有する。本明細書に記載のものと同様又は均等のいずれかの方法及び材料を、本発明の実施において使用できるが、好ましい方法、装置、及び材料は、本明細書に記載される。
【００３１】
［００３１］本明細書に挙げられる全ての特許、特許出願、及び出版物は、本発明とともに使用してもよいそれらの中に報告される化合物及び方法を記載し開示する目的のために、法律が許す範囲内で、参照により本明細書に組み込まれる。しかし、本明細書の何も、本発明が先行発明によって、かかる開示に先行する資格がないという承認として解釈されるべきではない。
【００３２】
［００３２］本明細書に表現される全ての重量パーセントは、具体的に、別段の指示がない限り、食品の総重量による。
【００３３】
［００３３］本明細書内の実施例は、明白で簡潔な明細書を書くことができるように記載されたが、実施例は、本発明から乖離することなく、様々に組み合わせ又は分離されてもよいと意図され、理解される。
【００３４】
発明
［００３４］１つの態様において、本発明は、一定範囲の乳幼児食品中の各製品が、添加される糖によって提供される、製品の全エネルギーの約１０％より少ないエネルギーを有する一定範囲の乳幼児食品を提供する。結果として生じる範囲の乳幼児食品は、その範囲の中の各食品が、添加される糖によって提供される甘味よりむしろ、製品中の成分から生じる自然の味を有するという利点を有する。
【００３５】
［００３５］好ましい実施形態において、その範囲の中の各製品が、添加される糖によって提供される、製品の全エネルギーの約５％より少ないエネルギーを含む。より好ましくは、その範囲の中の各製品が、添加される糖によって提供される、製品の全エネルギーの約２％より少ないエネルギーを含む。
【００３６】
［００３６］好ましい実施形態において、成分は添加される糖を実質的に含まず（例えば、添加される糖によって提供される、製品の全エネルギーの１％より少ない）、又は、添加される糖を全く含まず、その結果、製品は、食品の構成成分に本来存在する自然に発生する糖のみを有する。
【００３７】
［００３７］好ましくは、その範囲の製品は、乳幼児の各発達段階に適する少なくとも１種の食品を含む。
【００３８】
［００３８］好ましくは、その範囲の製品は、乳幼児の各発達段階に適する２種以上の食品を含む。より好ましくは、その範囲の製品は、乳幼児の各発達段階のために、少なくとも１種の野菜ベースの製品及び１種の果物ベースの製品を含む。より好ましくは、その範囲の製品は、乳幼児の各発達段階のために、複数種の野菜ベースの製品及び果物ベースの製品を含む。
【００３９】
［００３９］好ましくは、その範囲の製品は、乳幼児の発達の第１段階のために、少なくとも１種の野菜ベースの製品及び１種の果物ベースの製品を含む。
【００４０】

［００４０］好ましくは、その範囲の製品は、乳幼児の発達の第２段階のために、少なくとも１種の野菜ベースの製品、１種の完全食、及び１種の果物ベースの製品を含む。完全食は、栄養的にバランスのとれた１食分を提供するために考案される。すなわち、食事を提供するために、完全食を別の食品と一緒に組み合わせる必要はない。

【００４１】

［００４１］好ましくは、その範囲の製品は、乳幼児の発達の第３段階のために、少なくとも１種の野菜ベースの製品、１種の完全食、及び１種の果物ベースの製品を含む。

【００４２】

［００４２］好ましくは、その範囲の製品は、乳幼児の発達の第４段階のために、少なくとも１種の野菜ベースの製品、１種の完全食、及び１種の果物ベースの製品を含む。

【００４３】

［００４３］好ましくは、月齢約４から約６ヶ月まで（第１段階）の乳児のための乳幼児食品は、アーティチョーク、ニンジン、キュウリ、ウイキョウ、サヤマメ、セイヨウネギ、レタス、パースニップ、エンドウマメ、ジャガイモ、黄カボチャ、ホウレンソウ、カボチャ、及びズッキーニから選択される１種又は複数種の野菜を含む。

【００４４】

［００４４］好ましくは、月齢約４から約６ヶ月まで（第１段階）の乳児のための乳幼児食品は、リンゴ、アプリコット、バナナ、ブラックベリー、クロフサスグリ、コケモモ、サクランボ、ナツメヤシ、ブドウ、グーズベリー、グアバ、レモン、ライム、マンダリン、マンゴー、メロン、ネクタリン、オリーブ、オレンジ、モモ、ナシ、パイナップル、プラム、マルメロ、ラズベリー、アカフサスグリ、及びスイカから選択される１種又は複数種の果物を含む。

【００４５】

［００４５］好ましくは、月齢約４から約６ヶ月まで（第１段階）の乳児のための乳幼児食品は、アニス、バームミント、カモミール、キャラウェー、ガーキン、オレンジブロッサム、及びソレルから選択される１種又は複数種の香草及びスパイスを含む。

【００４６】

［００４６］好ましくは、月齢約６から約８ヶ月まで（第２段階）の乳児のための乳幼児食品は、アーティチョーク、ニンジン、キュウリ、ウイキョウ、サヤマメ、セイヨウネギ、レタス、パースニップ、ジャガイモ、黄カボチャ、カボチャ、ズッキーニ、ブロッコリー、カリフラワー、ナス、サツマイモ、トマト、エンドウマメ、及びホウレンソウから選択される１種又は複数種の野菜を含む。

【００４７】

［００４７］好ましくは、月齢約６から約８ヶ月まで（第２段階）の乳児のための乳幼児食品は、ダイズ、ブラックグラムシード、ヒヨコマメ、ササゲ、インゲンマメ、ヒラマメ、ヤエナリ、及びキマメから選択される１種又は複数種の豆果を含む。

【００４８】

［００４８］別の実施形態において、月齢約６から約８ヶ月まで（第２段階）の乳児のための乳幼児食品は、牛肉、子牛の肉、鶏肉、子羊の肉、豚肉、七面鳥の肉、及び鴨肉から選択される１種又は複数種の肉、及び／又は魚を含む。

【００４９】

［００４９］好ましくは、月齢約６から約８ヶ月まで（第２段階）の乳児のための乳幼児食品は、リンゴ、アプリコット、バナナ、ブラックベリー、クロフサスグリ、コケモモ、サクランボ、ナツメヤシ、ブドウ、グーズベリー、グアバ、レモン、ライム、マンダリン、マンゴー、メロン、ネクタリン、オリーブ、オレンジ、モモ、ナシ、パイナップル、プラム、マルメロ、ラズベリー、アカフサスグリ、スイカ、イチジク、パパイヤ、パッションフルーツ、イチゴ、及びタンジェリンから選択される１種又は複数種の果物を含む。

【００５０】

［００５０］好ましくは、月齢約６から約８ヶ月まで（第２段階）の乳児のための乳幼児食品は、アニス、バームミント、カモミール、キャラウェー、ガーキン、オレンジブロ

ッサム、ソレル、カルダモン、アサツキ、クミン、タマネギ、サフラン、サボリー、エシャロット、及びタイムから選択される１種又は複数種の香草及びスパイスを含む。

【００５１】

［００５１］好ましくは、月齢約６から約８ヶ月まで（第２段階）の乳児のための乳幼児食品は、ココナッツを含む。

【００５２】

［００５２］好ましくは、月齢約８から約１２ヶ月まで（第３段階）の乳児のための乳幼児食品は、アーティチョーク、ニンジン、キュウリ、ウイキョウ、サヤマメ、セイヨウネギ、レタス、パースニップ、ジャガイモ、黄カボチャ、カボチャ、ズッキーニ、ブロッコリー、カリフラワー、ナス、サツマイモ、トマト、エンドウマメ、ホウレンソウ、アスパラガス、ビート（の根）、芽キャベツ、キャベツ、ガーデンピー、ダイコン、及びカブから選択される１種又は複数種の野菜を含む。

【００５３】

［００５３］好ましくは、月齢約８から約１２ヶ月まで（第３段階）の乳児のための乳幼児食品は、ダイズ、ブラックグラムシード、ヒヨコマメ、ササゲ、インゲンマメ、ヒラマメ、ヤエナリ、キマメ、ライマメ、及びシカクマメから選択される１種又は複数種の豆果を含む。

【００５４】

［００５４］好ましくは、月齢約８から約１２ヶ月まで（第３段階）の乳児のための乳幼児食品は、牛肉、子牛の肉、鶏肉、子羊の肉、豚肉、七面鳥の肉、及び鴨肉から選択される１種又は複数種の肉、及び／又は魚、及び／又は卵を含む。

【００５５】

［００５５］好ましくは、月齢約８から約１２ヶ月まで（第３段階）の乳児のための乳幼児食品は、リンゴ、アプリコット、バナナ、ブラックベリー、クロフサスグリ、コケモモ、サクランボ、ナツメヤシ、ブドウ、グーズベリー、グアバ、レモン、ライム、マンダリン、マンゴー、メロン、ネクタリン、オリーブ、オレンジ、モモ、ナシ、パイナップル、プラム、マルメロ、ラズベリー、アカフサスグリ、スイカ、イチジク、パパイヤ、パッションフルーツ、イチゴ、タンジェリン、及びルバーブから選択される１種又は複数種の果物を含む。

【００５６】

［００５６］好ましくは、月齢約８から約１２ヶ月まで（第３段階）の乳児のための乳幼児食品は、アニス、バームミント、カモミール、キャラウェー、ガーキン、オレンジブロッサム、ソレル、カルダモン、アサツキ、クミン、タマネギ、サフラン、サボリー、エシャロット、タイム、コリアンダー、クルクマ、ガーデンソレル、ニンニク、ミント、及びバニラから選択される１種又は複数種の香草及びスパイスを含む。

【００５７】

［００５７］好ましくは、月齢約８から約１２ヶ月まで（第３段階）の乳児のための乳幼児食品は、ココナッツ及び／又はココアを含む。

【００５８】

［００５８］好ましくは、月齢約１２から約３６ヶ月まで（ジュニア段階）の幼児のための乳幼児食品は、アーティチョーク、ニンジン、キュウリ、ウイキョウ、サヤマメ、セイヨウネギ、レタス、パースニップ、ジャガイモ、黄カボチャ、カボチャ、ズッキーニ、ブロッコリー、カリフラワー、ナス、サツマイモ、トマト、エンドウマメ、ホウレンソウ、アスパラガス、ビート（の根）、芽キャベツ、キャベツ、ガーデンピー、ダイコン、カブ、マッシュルーム、及びクレソンから選択される１種又は複数種の野菜を含むことが好ましい。

【００５９】

［００５９］好ましくは、月齢約１２から約３６ヶ月まで（ジュニア段階）の幼児のための乳幼児食品は、ダイズ、ブラックグラムシード、ヒヨコマメ、ササゲ、インゲンマメ、ヒラマメ、ヤエナリ、キマメ、ライマメ、及びシカクマメから選択される１種又は複数

種の豆果を含む。

【００６０】

［００６０］好ましくは、月齢約１２から約３６ヶ月まで（ジュニア段階）の幼児のための乳幼児食品は、牛肉、子牛の肉、鶏肉、子羊の肉、豚肉、七面鳥の肉、鴨肉から選択される１種又は複数種の肉、及び／又は魚、及び／又は卵、及び／又は甲殻類を含む。

【００６１】

［００６１］好ましくは、月齢約１２から約３６ヶ月まで（ジュニア段階）の幼児のための乳幼児食品は、リンゴ、アプリコット、バナナ、ブラックベリー、クロフサスグリ、コケモモ、サクランボ、ナツメヤシ、ブドウ、グーズベリー、グアバ、レモン、ライム、マンダリン、マンゴー、メロン、ネクタリン、オリーブ、オレンジ、モモ、ナシ、パイナップル、プラム、マルメロ、ラズベリー、アカフサスグリ、スイカ、イチジク、パパイヤ、パッションフルーツ、イチゴ、タンジェリン、ルバーブ、グレープフルーツ、及びキューイから選択される１種又は複数種の果物を含む。

【００６２】

［００６２］好ましくは、月齢約１２から約３６ヶ月まで（ジュニア段階）の幼児のための乳幼児食品は、アニス、バームミント、カモミール、キャラウェー、ガーキン、オレンジブロッサム、ソレル、カルダモン、アサツキ、クミン、タマネギ、サフラン、サボリー、エシャロット、タイム、コリアンダー、クルクマ、ガーデンソレル、ニンニク、ミント、バニラ、バジル、ゲッケイジュ、チャービル、シナモン、クローブ、ショウガ、カンゾウ、メース、マジョラム、ナツメグ、オレガノ、パセリ、コショウ、ローズマリー、セージ、及びテラゴンから選択される１種又は複数種の香草及びスパイスを含む。

【００６３】

［００６３］好ましくは、月齢約１２から約３６ヶ月まで（ジュニア段階）の幼児のための乳幼児食品は、ココナッツ、ココア、アーモンド、ブナの木の実、ブラジルナッツ、カシューナッツ、クリ、ヘーゼルナッツ、マカデミアナッツ、ピーカンナッツ、ピスタチオナッツ、及びクルミから選択される１種又は複数種のナッツを含む。

【００６４】

［００６４］さらなる態様において、本発明は、乳幼児に本発明による一定範囲の食品を与えることを含む、異なる発達段階中の乳幼児の栄養ニーズを満たすための食餌法を提供する。

【００６５】

［００６５］さらなる態様において、本発明は、栄養に関連する障害の予防又は治療のための１種又は複数種の薬剤の製造における、本発明による一定範囲の食品の使用を提供する。

【００６６】

［００６６］別の態様において、本発明は、本発明による一定範囲の食品を与えるステップを含む、栄養に関連する障害を予防又は治療する方法を提供する。

【００６７】

［００６７］栄養に関連する疾患は、場合によって、肥満、栄養失調、糖尿病、及び心臓病から選択される。

【００６８】

［００６８］他の態様において、本発明は、本発明の方法を使用して作製される製品及び本発明の装置を使用して作製される製品を提供する。

【実施例】

【００６９】

［００６９］本発明はさらに、以下の実施例によって説明することができるが、これらの実施例は、説明の目的だけのために含まれており、別段に具体的な指示がない限り、本発明の範囲を限定することを意図しないことが理解される。

【００７０】

［００７０］第１段階のための１日の補完食は、

（ｉ）乳幼児用穀物１人前１００ｇ、
（ｉｉ）本発明による野菜料理１人前６５ｇ、及び
（ｉｉｉ）本発明による果物料理１人前６５ｇ
を含んでいた。

【００７１】

［００７１］いくつかの野菜及び果物料理を、一定範囲の離乳食品において提供し、第１段階の食事に対する適性に従って分類した。図１に示す食餌計画を使用して、どの食事が、第１段階のための１日の食物摂取量を構成することができるかを決定した。この実施例において、野菜料理は黄カボチャベースの料理であり、果物料理はリンゴベースの料理であった。

【００７２】

【表１】

表１：野菜料理のための成分のリスト

成分	100g当たりの量(g)
ジャガイモの薄片	4.000
冷凍の黄カボチャ	40.000
冷凍のジャガイモ6×6mm	10.000
ニンジン	15.000
低エルカ酸菜種油（キャノーラ）	0.400
ヒマワリ油	0.400
水	30.200

【００７３】

【表２】

表２：果物料理のための成分のリスト

成分	100g当たりの量(g)
生のリンゴ	99.95
ビタミンC	0.05

【００７４】

［００７２］各料理は、以下の栄養価を提供した。

【００７５】

【表３】

表３：第１段階の各料理によって提供される栄養価

	kcal/100g	kcal/1食分	1日のエネルギー摂取量%
穀物料理	106.0　RTE流動食分 424　乾燥粉末分	106.00	17.0
野菜料理	40.7	26.46	4.2
果物料理	53.2	34.58	5.5

【００７６】

［００７３］補完料理によって提供される１日の総栄養価は、以下の通りであった。

【００７７】

【表４】
表４：第１段階の補完料理によって提供される１日の栄養価

	1日当たり	100g当たり	E%(1日のエネルギー摂取量)
全タンパク質(g)	4.3	2.8	10.4
全脂肪(g)	3.3	2.2	18.1
全CHO(g)	29.8	19.2	71.5
繊維(g)	3.1	2.0	-
ナトリウム(mg)	38.1	24.6	-
LA(g)	0.8	0.5	4.3
ALA(g)	0.1	0.1	0.6
LA/ALA率	7.1	-	-
エネルギー(kCal)	166.5	107.4	-

（ＣＨＯは炭水化物、ＬＡはリノレン酸、ＡＬＡはα－リノレン酸を表す。）

【００７８】
［００７４］補助食品によって提供される１日のエネルギー摂取量の総計は、２６．６％（１６６．５ｋｃａｌ）であった。１日のエネルギー摂取量の残りの７３．４％（４５８ｋｃａｌ）は、乳によって提供された。これで、１日の総エネルギー摂取量は６２５．０４ｋｃａｌとなった。
【００７９】
実施例２
［００７５］第２段階のための１日の補完食は、
（ｉ）乳幼児用穀物１人前１００ｇ、
（ｉｉ）本発明による野菜料理１人前１００ｇ、
（ｉｉｉ）本発明による完全食１人前１００ｇ、及び
（ｉｖ）本発明による果物料理１人前６５ｇ
を含んでいた。
【００８０】
［００７６］いくつかの完全食、野菜及び果物料理を、一定範囲の離乳食品において提供し、第２段階の食事に対する適性に従って分類した。図１に示す食餌計画を使用して、どの食事が、第２段階のための１日の食物摂取量を構成することができるかを決定した。この実施例において、野菜料理は園芸野菜及びトウモロコシをベースにし、完全食は園芸野菜及び子羊の肉をベースにし、果物料理はリンゴ及びラズベリーをベースにした。
【００８１】
【表５】
表５：野菜料理のための成分のリスト

成分	100g当たりの量(g)
ニンジン	30.000
ジャガイモの薄片	3.000
冷凍のスイートコーン	10.000
冷凍のパースニップ	10.000
米　セモリナ	1.000
低エルカ酸菜種油（キャノーラ）	0.400
冷凍のウイキョウ	5.000
ヒマワリ油	0.200
水	40.400

【００８２】
【表６】
表６：完全食のための成分のリスト

成分	100g当たりの量(g)
ジャガイモの薄片	4.000
ニンジン	30.000
冷凍の子羊の肉	8.500
米　セモリナ	2.000
冷凍のパースニップ	5.000
冷凍のスイートコーン	3.000
低エルカ酸菜種油（キャノーラ）	0.600
ヒマワリ油	0.400
冷凍のタマネギ10mm	4.000
水	42.500

【００８３】
【表７】
表７：果物料理のための成分のリスト

成分	100g当たりの量(g)
生のリンゴ	79.96
ラズベリーのピューレ	19.99
ビタミンC	0.05

【００８４】
［００７７］各料理は、以下の栄養価を提供した。
【００８５】
【表８】
表８：第２段階の各料理によって提供される栄養価

	kcal/100g	kcal/1食分	1日のエネルギー摂取量%
穀物料理	106.0　RTE流動食分 424　乾燥粉末分	106.00	15.8
野菜料理	42.6	42.6	6.4
完全食	62.6	62.6	9.3
果物料理	50.2	32.63	4.9

【００８６】
［００７８］補完料理によって提供される１日の総栄養価は、以下の通りであった。
【００８７】

【表９】
表９：第２段階の補完料理によって提供される１日の栄養価

	1日当たり	100g当たり	E%(1日のエネルギー摂取量)
全タンパク質(g)	7.8	2.7	12.9
全脂肪(g)	6.2	2.1	23.1
全CHO(g)	38.5	13.3	63.9
繊維(g)	5.2	1.8	-
ナトリウム(mg)	75.7	26.1	-
LA (g)	1.2	0.4	4.6
ALA (g)	0.2	0.1	0.6
LA/ALA率	7.3	-	-
エネルギー(kcal)	241.1	83.1	-

【００８８】
［００７９］補助食品によって提供される１日のエネルギー摂取量の総計は、３５．９％（２４１．１ｋｃａｌ）であった。１日のエネルギー摂取量の残りの６４．１％（４２８．９３ｋｃａｌ）は、乳によって提供された。これで、１日の総エネルギー摂取量は６７０．０３ｋｃａｌとなった。
【００８９】
実施例３
［００８０］第３段階のための１日の補完食は、
（ｉ）乳幼児用穀物１人前１５０ｇ、
（ｉｉ）本発明による野菜料理１人前２００ｇ、
（ｉｉｉ）本発明による完全食１人前２００ｇ、及び
（ｉｖ）本発明による果物料理１人前１３０ｇ
を含む。
【００９０】
［００８１］いくつかの完全食、野菜及び果物料理を、一定範囲の離乳食品において提供し、第３段階の食事に対する適性に従って分類した。図１に示す食餌計画を使用して、どの食事が、第３段階のための１日の食物摂取量を構成することができるかを決定した。この実施例において、野菜料理は園芸野菜及びトウモロコシをベースにし、完全食はパスタ、トマト、及び牛肉をベースにし、果物料理はフルーツサラダをベースにした。
【００９１】
【表１０】
表１０：野菜料理のための成分のリスト

成分	100g当たりの量(g)
ニンジン	30.000
ジャガイモの薄片	3.000
冷凍のスイートコーン	10.000
冷凍のパースニップ	10.000
米　セモリナ	1.000
低エルカ酸菜種油（キャノーラ）	0.400
冷凍のウイキョウ	5.000
ヒマワリ油	0.200
水	40.400

【００９２】

【表１１】
表１１：完全食のための成分のリスト

成分	100g当たりの量(g)
短いパスタスパゲッティ	8.000
脂肪14%の冷凍の牛肉	8.000
ニンジン	20.000
トマトのピューレ	5.000
低エルカ酸菜種油（キャノーラ）	0.800
ヒマワリ油	0.400
冷凍の赤ピーマン10mm	4.000
冷凍のタマネギ10mm	3.000
冷凍のタイム	0.100
水	50.700

【００９３】
【表１２】
表１２：果物料理のための成分のリスト

成分	100g当たりの量(g)
生のリンゴ	39.98
冷凍のウイリアム種のナシ	14.9925
モモのピューレ	14.9925
バナナのピューレ　種無し	19.990
アプリコットのピューレ	9.995
ビタミンC	0.05

【００９４】
［００８２］各料理は、以下の栄養価を提供した。
【００９５】
【表１３】
表１３：第３段階の各料理によって提供される栄養価

	Kcal/100g	kcal/1食分	1日のエネルギー摂取量%
穀物料理	106.0	159.00	20.6
野菜料理	42.6	85.2	11.1
完全食	65.9	131.8	17.1
果物料理	56.0	72.8	9.5

【００９６】
［００８３］補完料理によって提供される１日の総栄養価は、以下の通りであった。
【００９７】

【表１４】
表１４：第３段階の補完料理によって提供される１日の栄養価

	1日当たり	100g当たり	E%
全タンパク質(g)	14.8	2.6	13.2
全脂肪(g)	10.9	1.9	22
全CHO(g)	72.4	12.8	64.8
繊維(g)	8.4	1.5	-
ナトリウム(mg)	142.3	25.1	-
LA (g)	2.3	0.4	4.6
ALA (g)	0.4	0.1	0.7
LA/ALA率	6.5	-	-
エネルギー(kcal)	447.0	78.8	-

【００９８】
［００８４］補助食品によって提供される１日のエネルギー摂取量の総計は、５８．０％（４４７．０ｋｃａｌ）であった。１日のエネルギー摂取量の残りの４２．０％（３２３．０ｋｃａｌ）は、乳によって提供された。これで、１日の総エネルギー摂取量は７７０ｋｃａｌとなった。
【００９９】
実施例４
［００８５］第４段階のための１日の補完食は、
（ｉ）乳幼児用穀物１人前３５０ｇ、
（ｉｉ）本発明による野菜料理１人前２００ｇ、
（ｉｉｉ）本発明による完全食１人前２５０ｇ、及び
（ｉｖ）本発明による果物料理１人前１３０ｇ
を含む。
【０１００】
［００８６］いくつかの完全食、野菜及び果物料理を、一定範囲の離乳食品において提供し、第４段階の食事に対する適性に従って分類した。図１に示す食餌計画を使用して、どの食事が、第４段階のための１日の食物摂取量を構成することができるかを決定した。この実施例において、野菜料理は園芸野菜及びトウモロコシ料理であり、完全食はパスタ、トマト、及び牛肉料理であり、果物料理は、フルーツサラダ料理であった。
【０１０１】
【表１５】
表１５：野菜料理のための成分のリスト

成分	100g当たりの量(g)
ニンジン	30.000
ジャガイモの薄片	3.000
冷凍のスイートコーン	10.000
冷凍のパースニップ	10.000
米　セモリナ	1.000
低エルカ酸菜種油（キャノーラ）	0.400
冷凍のウイキョウ	5.000
ヒマワリ油	0.200
水	40.400

【０１０２】

【表１６】
表１６：完全食のための成分のリスト

成分	100g当たりの量(g)
短いパスタスパゲッティ	8.000
脂肪14%の冷凍の牛肉	8.000
ニンジン	20.000
トマトのピューレ	5.000
低エルカ酸菜種油（キャノーラ）	0.800
ヒマワリ油	0.400
冷凍の赤ピーマン10mm	4.000
冷凍のタマネギ10mm	3.000
冷凍のタイム	0.100
水	50.700

【０１０３】
【表１７】
表１７：果物料理のための成分のリスト

成分	100g当たりの量(g)
生のリンゴ	39.98
冷凍のウイリアム種のナシ	14.9925
モモのピューレ	14.9925
バナナのピューレ　種無し	19.990
アプリコットのピューレ	9.995
ビタミンC	0.05

【０１０４】
［００８７］各料理は、以下の栄養価を提供した。
【０１０５】
【表１８】
表１８：第４段階の各料理によって提供される栄養価

	kcal/100g	kcal/1食分	1日のエネルギー摂取量%
穀物料理	106.0	371	35.7
野菜料理	42.6	85.2	8.2
完全食	65.9	164.75	15.8
果物料理	56.0	72.8	7.0

【０１０６】
［００８８］補完料理によって提供される１日の栄養価は、以下の通りであった。
【０１０７】

【表１９】

表１９：第４段階の補完料理によって提供される１日の栄養価

	1日当たり	100g当たり	E%
全タンパク質(g)	23.6	3.5	13.6
全脂肪(g)	17.2	2.6	22.4
全CHO(g)	110.6	16.6	64.0
繊維(g)	9.8	1.5	-
ナトリウム(mg)	215.0	32.2	-
LA (g)	3.4	0.5	4.5
ALA (g)	0.5	0.1	0.7
LA/ALA率	6.8	-	-
エネルギー(kcal)	691.7	103.6	-

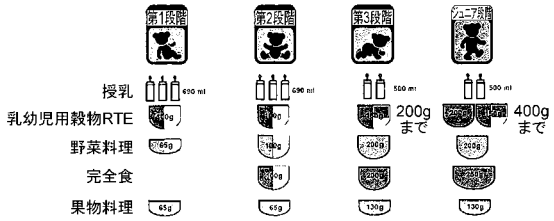
【０１０８】

［００８９］補助食品によって提供される１日のエネルギー摂取量の総計は、６６．５％（６９１．７ｋｃａｌ）であった。１日のエネルギー摂取量の残りの３３．５％（３４８．３ｋｃａｌ）は、乳によって提供された。これで、１日の総エネルギー摂取量は１０４０ｋｃａｌとなった。

【０１０９】

［００９０］本明細書において、本発明の典型的な好ましい実施形態を開示しており、具体的な用語が使用されるが、それらは一般的及び記述的な意味においてのみ使用され、限定の目的で使用されておらず、本発明の範囲は、以下の特許請求の範囲において記載される。明らかに、本発明の多くの変更例及び改変例は、上記の教示に鑑み可能である。したがって、添付の特許請求の範囲内において、本発明は具体的に記載されたのとは別の方法で実施されてもよいことが理解されるはずである。

【図１】



【手続補正書】
【提出日】平成21年7月2日(2009.7.2)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
乳幼児の各発達段階に適する少なくとも１種の食品を含む、一定範囲の乳幼児食品であって、前記一定範囲の乳幼児食品中の各製品が、添加される糖によって提供される、製品の全エネルギーの約１０％より少ないエネルギーを含む、一定範囲の乳幼児食品。
【請求項２】
一定範囲の乳幼児食品中の各製品が、添加される糖によって提供される、製品の全エネルギーの約５％より少ないエネルギーを含む、請求項１に記載の一定範囲の乳幼児食品。
【請求項３】
一定範囲の乳幼児食品中の各製品が、添加される糖によって提供される、製品の全エネルギーの約２％より少ないエネルギーを含む、請求項１又は２に記載の一定範囲の乳幼児食品。
【請求項４】
一定範囲の乳幼児食品中の各製品が、添加される糖を実質的に含まず、その結果、製品が食品の成分に本来存在する自然に発生する糖のみを有する、請求項１～３のいずれか一項に記載の一定範囲の乳幼児食品。
【請求項５】
一定範囲の製品が、乳幼児の各発達段階に適する２種以上の食品を含む、請求項１～４

のいずれか一項に記載の一定範囲の乳幼児食品。
【請求項６】
一定範囲の製品が、乳幼児の各発達段階のために、少なくとも１種の野菜ベースの製品及び１種の果物ベースの製品を含む、請求項１～５のいずれか一項に記載の一定範囲の乳幼児食品。
【請求項７】
一定範囲の製品が、乳幼児の各発達段階のために、複数種の野菜ベースの製品及び果物ベースの製品を含む、請求項１～６のいずれか一項に記載の一定範囲の乳幼児食品。
【請求項８】
一定範囲の製品が、乳幼児の発達の第１段階のために、少なくとも１種の野菜ベースの製品及び１種の果物ベースの製品を含む、請求項１～７のいずれか一項に記載の一定範囲の乳幼児食品。
【請求項９】
一定範囲の製品が、乳幼児の発達の第２段階のために、少なくとも１種の野菜ベースの製品、１種の完全食、及び１種の果物ベースの製品を含む、請求項１～８のいずれか一項に記載の一定範囲の乳幼児食品。
【請求項１０】
一定範囲の製品が、乳幼児の発達の第３段階のために、少なくとも１種の野菜ベースの製品、１種の完全食、及び１種の果物ベースの製品を含む、請求項１～９のいずれか一項に記載の一定範囲の乳幼児食品。
【請求項１１】
一定範囲の製品が、乳幼児の発達の第４段階のために、少なくとも１種の野菜ベースの製品、１種の完全食、及び１種の果物ベースの製品を含む、請求項１～１０のいずれか一項に記載の一定範囲の乳幼児食品。
【請求項１２】
請求項１～１１のいずれか一項に記載の一定範囲の食品を、乳幼児に与えるステップを含む、異なる発達段階中の乳幼児の栄養ニーズを満たすための食餌法。
【請求項１３】
栄養に関連する障害の予防又は治療のための１種又は複数種の薬剤又は機能性食品の製造における、請求項１～１１のいずれか一項に記載の一定範囲の食品の使用。
【請求項１４】
請求項１～１１のいずれか一項に記載の一定範囲の食品を与えるステップを含む、栄養に関連する障害の発症の予防、治療、又は遅延の方法。
【請求項１５】
栄養に関連する疾患が、肥満、栄養失調、糖尿病，及び心臓病から選択される、請求項１３に記載の使用又は請求項１４に記載の方法。
【請求項１６】
本明細書に実質的に記載される一定範囲の乳幼児食品。

【国際調査報告】

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No
PCT/EP2008/007260

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER
INV. A23L1/29 A23L1/212

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)
A23L

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Electronic data base consulted during the International search (name of data base and, where practical, search terms used)
EPO-Internal, WPI Data, FSTA

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
X	US 5 837 309 A (THEUER RICHARD C [US]) 17 November 1998 (1998-11-17) claims; examples	1-17
X	US 5 849 350 A (ASHOURIAN JAMSHID [US]) 15 December 1998 (1998-12-15) claims; examples	1-17
L	ANONYMOUS: "Hipp Früh-Karotten" INTERNET CITATION, [Online] XP002468966 Retrieved from the Internet: URL:http://www.hipp.de/fileadmin/_bilder/produktbilder_PDFs/4090%20V4%2005.05.pdf> [retrieved on 2008-02-14] the whole document	1-17

-/--

[X] Further documents are listed in the continuation of Box C. [X] See patent family annex.

* Special categories of cited documents :

"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance
"E" earlier document but published on or after the international filing date
"L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)
"O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means
"P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed
"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention
"X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone
"Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other, such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art.
"&" document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search	Date of mailing of the international search report
17 October 2008	04/11/2008

Name and mailing address of the ISA/	Authorized officer
European Patent Office, P.B. 5818 Patentlaan 2 NL – 2280 HV Rijswijk Tel. (+31-70) 340-2040, Fax: (+31-70) 340-3016	Vernier, Frédéric

Form PCT/ISA/210 (second sheet) (April 2005)

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No
PCT/EP2008/007260

C(Continuation). DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
L	ANONYMOUS: "Früchte-Duett" INTERNET CITATION, [Online] XP002468967 Retrieved from the Internet: URL:http://www.hipp.de/fileadmin/_bilder/produktbilder_PDFs/5470%20V1%2007_0562EM%2006.07.pdf> [retrieved on 2008-02-14] the whole document -----	1-17
L	ANONYMOUS: "Anfangsmilch" INTERNET CITATION, [Online] XP002468968 Retrieved from the Internet: URL:http://www.hipp.de/fileadmin/_bilder/produktbilder_PDFs/2025%20HiPP%201%20Probiotisch%2008-07.pdf> [retrieved on 2008-02-14] the whole document -----	1-17

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

Information on patent family members

International application No
PCT/EP2008/007260

Patent document cited in search report	Publication date	Patent family member(s)	Publication date
US 5837309 A	17-11-1998	CA 2197268 A1	21-08-1997
US 5849350 A	15-12-1998	NONE	

フロントページの続き

(81)指定国 AP(BW,GH,GM,KE,LS,MW,MZ,NA,SD,SL,SZ,TZ,UG,ZM,ZW),EA(AM,AZ,BY,KG,KZ,MD,RU,TJ,TM),EP(AT,BE,BG,CH,CY,CZ,DE,DK,EE,ES,FI,FR,GB,GR,HR,HU,IE,IS,IT,LT,LU,LV,MC,MT,NL,NO,PL,PT,RO,SE,SI,SK,TR),OA(BF,BJ,CF,CG,CI,CM,GA,GN,GQ,GW,ML,MR,NE,SN,TD,TG),AE,AG,AL,AM,AO,AT,AU,AZ,BA,BB,BG,BH,BR,BW,BY,BZ,CA,CH,CN,CO,CR,CU,CZ,DE,DK,DM,DO,DZ,EC,EE,EG,ES,FI,GB,GD,GE,GH,GM,GT,HN,HR,HU,ID,IL,IN,IS,JP,KE,KG,KM,KN,KP,KR,KZ,LA,LC,LK,LR,LS,LT,LU,LY,MA,MD,ME,MG,MK,MN,MW,MX,MY,MZ,NA,NG,NI,NO,NZ,OM,PG,PH,PL,PT,RO,RS,RU,SC,SD,SE,SG,SK,SL,SM,ST,SV,SY,TJ,TM,TN,TR,TT,TZ,UA,UG,US,UZ,VC,VN,ZA,ZM,ZW

(72)発明者 ウルセル, シルヤ
ドイツ国, ７８４６７ コンスタンツ, ヒンデンブルグシュトラーセ ２２

Ｆターム(参考) 4B018 LB10 MD27 MD52 MD53 MD61 ME01 ME02 ME03 ME14 MF02